

石井こうじ議会レポート

令和2年は今年の漢字「密」にも表れているように新型コロナウイルス感染症に終始した一年でした。コロナは多方面に影響を及ぼし、今まで経験したことのない被害をもたらしました。私は常々コロナは災害であり、災害時の対応をするべきであると主張してきました。

災害時の対応といえば、人命救助を最優先するとともに、迅速かつ正確な情報収集と伝達、そして必要な対策を講じていく判断力と行動力が求められます。本市において、その中核となるのが行政の長である市長であり、提案されたことを最終的に表決する議会も重い責務を負います。

コロナ禍での生活はみな手探りであり不安が付きまといまいます。感染者数も全国的に上昇傾向の中、本市が展開するコロナ対策が適切なのかどうか、市民の声をしっかりと聴き、そして明確なメッセージを前面に出してもっと発信する必要があります。その点では本市は十分であるとは言えません。

私の所属する会派「創生静岡」は11月19日（木）に市長に対し令和3年度へ向けた政策提言を提出しました。新型コロナウイルス対策としては、市長からの情報発信の強化を求めると

もに、「感染拡大防止と意識啓発」、「市民への支援と経済対策」の2つの観点から15項目の政策を提言。コロナ以外では「住みやすく生活を大切にする街づくり」、「愛郷心を育て発展する街づくり」、「安心安全で持続する街づくり」の三つの視点から25項目の重点要望を提言しました。

この政策提言に基づき、令和3年度の予算編成を審議する2月議会において、会派を代表し質問をいたします。



静岡市議会議員 石井孝治



桜ヶ丘病院移転についての要望書を提出

12月21日、静岡市と独立行政法人地域医療推進機構（JCHO）は桜ヶ丘病院を新清水庁舎予定地であるJR清水駅東口公園へ移転新築し、2023年度をめどに開業する旨の協定を結びました。

しかし、この協定は場所と開業時期を合意しただけであり、肝心の医師確保を含め医療体制がどのようなになるか、市民の共有財産である公園の取り扱い、清水庁舎の移転問題など、多くの課題が未解決のまま進められようとしています。

静岡市全体の医療体制を守るためにも、創生静岡は静岡市に対し全体像を「明確」にし、方針決定に際しては十分な市民説明と市民合意を得ることを前提にするように強く要望しました。



ご意見



ご要望は

静岡市議会議員 石井こうじ

〒422-8041 静岡県静岡市駿河区中田1丁目7-4

電話/FAX：054-284-7042

email：ishii-koji@yr.tnc.ne.jp web：https://ishiikoji.net/

令和3年度への政策提言を提出



11月19日（木）「創生静岡」は、田辺市長に令和3年度政策提言を提出しました。この提言書は来年度に静岡市が取り組むべき施策を示したものです。内容は多岐に渡りますが、重要なことは市民の皆様から預かった税金を無駄なく活用することです。

コロナ禍の中、歳入の減少も避けられません。コロナ対策をはじめとして、今、本当に求められている施策の実現に財源の「選択と集中」が必要です。今回の提言はそのことを念頭に作成しました。

【政策提言書 重点項目の一部】

- ◎市長部局においては、市民との会話を重視し、市民の意見や意向を総合的に判断し議案への反映につとめるよう要望する。
- ◎清水駅東口周辺の開発はサッカースタジアム構想を中心に検討を進めること。
- ◎海洋文化拠点施設については財政面や運営手法等、課題については早急に対応し、大規模改修など将来的に必要となる経費についても明らかにすること。
- ◎大井川流域市町と連携し、リニア建設に伴う水量減対策に取り組むこと。

政策提言書の全文は右 QR コードを読み込むか会派までお問い合わせください



11月議会補正予算

11億6,488万円（一般会計11億4,096万円）

「海洋拠点づくり」を中心に、「安全・安心なまちづくり」、「教育環境の充実」などの予算を編成

三保内浜マリンリゾート拠点形成推進事業費助成



清水みなとまちづくりグランドデザインにおけるリーディングプロジェクトの一つである、「三保海岸地区」において、

海洋レクリエーションの活性化や回遊性の向上を図り、三保半島の海の玄関口として新たな賑わい拠点となる「ビーチステーション」の整備を支援

小中学校校舎トイレリフレッシュ事業



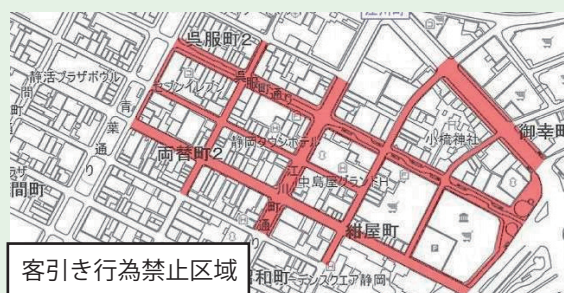
トイレリフレッシュ前と後

老朽化が著しく衛生的な環境整備の保持が困難なトイレを清潔で快適なトイレに改修する。

「静岡市客引き行為等の禁止に関する条例」を制定

近年、市内繁華街において、客引き業者による道路への立ちふさがり、通行人へのつきまといなどの行為により、多くの市民や観光客の安心で安全な通行が妨げられる状況が発生しています。

そのため、特に客引き行為等が多い区域について、客引き行為等禁止区域を設定し、市民等が安心して通行することができる快適な生活環境を確保することで、魅力と活力のある安心、安全で快適なまちづくりに寄与することを目的として制定することといたしました。



客引き行為禁止区域

会派視察報告

早川町視察

10月26日（月）、27日（火）の日程で山梨県早川町と山梨県庁を視察させていただきました。視察目的として、早川町では①リニア中央新幹線工事による早川町の環境や地域活性化への影響に対する町及び議会の受け止め、②さくらえび不漁問題に絡む、日本軽金属所有の雨畑ダム土砂問題についての町及び議会の考え方、併せて発生土置き場など現地視察しました。

早川町では職員を介せず市長、議長、副議長他に直接説明を受け、議員の行政施策に対する率先した取組に感銘を受けるとともに、リニア中央新幹線等の政治的な選択を迫られる事業について説明責任を果たしていこうという姿勢を強く感じました。



早川町議員の皆さんと南アルプスユネスコエコパークを活用した地域活性化策についても議論を深めました。



雨畑ダムの説明を日軽金職員から頂きました。濁りや不漁の原因はいまだ不明であり、今後の調査に期待するところです。



リニア中央新幹線の山梨工区の掘削口や発生土置き場を視察。市・県民に理解される取組を進めていくべきと痛感しました。